∞ REPROX

Digital Photo Frame

RPF-2200

取扱説明書

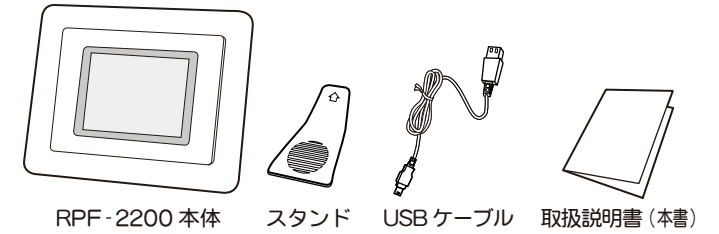
このたびは、コンパクトデジタルフォトフレーム REPROX RPF-2200 をお買い求めいただきありがとうございます。本書には重要な注意事項や製品の取り扱い方法が書かれています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管してください。

主な特長

- リユース液晶を利用したエコスタイル製品
- 内蔵充電池でどこでも楽しめる！
- JPEG、BMP、GIF 形式ファイルをサポート
- スライドショー機能
- インストール不要の写真転送ソフト

セット内容

ご使用になる前に、次の内容がそろっていることをご確認ください。

RPF-2200 本体　スタンド　USB ケーブル　取扱説明書（本書）

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災や人身事故につながる危険性があります。事故を防ぐために次の内容を必ずお守りください。

⚠警告　下記の注意を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故の原因となることがあります。

- ●コード・プラグを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしないでください。
- ●ぬれた手で操作、プラグの抜き差しはしないでください。
- ●プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ●傷んだケーブル、ゆるんだプラグは使わないでください。
- ●本体プラグのほこり等は定期的に掃除してください。充電用ケーブルを抜き、乾いた布で拭いてください。長期間使わないときは、充電用ケーブルを抜いてください。
- ●水などの液体をかけたり、ぬらしたりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
- ●お客様ご自身による分解、改造は絶対にしないでください。
- ●雷が鳴ったら、アンテナ、充電用ケーブル、本体に触れないでください。感電するおそれがあります。
- ●万一、異常な熱さ、煙、異常音、異臭があった場合は使用を中止してください。
- ●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
- ●プール、浴室、台所の流し台や加湿器の周辺などでの水気や湿気がある場所、ほこりの多い場所での使用、保管はしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- ●充電用ケーブルの抜き差しは、必ずプラグを持っておこなってください。コードの部分を持っておこなうと断線などの原因となります。
- ●本機は安定した安全な場所に設置してください。不安定な場所に設置すると、落下によるケガの原因になります。
- ●使用中にかゆみや違和感を覚えたときは、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。
- ●落下させる、ぶつけるなどして本機に強い衝撃を与えないでください。
- ●異常に温度が高くなる場所、直射日光などが当たる場所では使用しないでください。
- ●ボタン操作は硬いものを使っておこなわないでください。また、必要以上に強い力でボタンを押さないでください。
- ●発火しやすい薬品などの近くで使用しないでください。
- ●寒い室外から暖かい部屋に移動したときは結露します。しばらく経ってから使用してください。

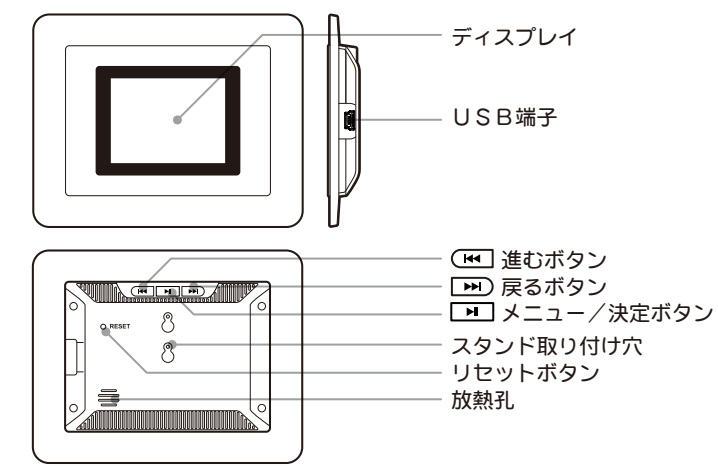
電池について

- ●本機の内蔵電池はリチウムポリマー充電池を使用しています。完全に放電する必要が無く、継ぎ足し充電が可能です。
- ●本機にはリチウムポリマー充電池が内蔵されています。この電池はお客様ご自身による電池交換はできません。ご自身での分解改造は絶対にしないでください。
- ●本機を下記に投じることはしないでください。
- ●充電時間や使用時間は、使用頻度や環境により変化します。
- ●十分に充電された後、コンピュータや AC アダプタを接続したままにしておくと、充電池の寿命を縮めることになりますのでご注意ください。
- ●充電池は使用しなくても少しづつ放電されます。
- ●充電池には寿命があります。（充電を繰り返すと消耗されます。）

液晶画面について

以下は液晶の特性によるもので、故障ではありません。

- ●一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
- ●明るさにむらが生じる場合があります。
- ●太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。
- ●本機はリユース液晶を使用しております。元来縦向きに使用する液晶のため、横から見た場合は見えにくくなる向きがあります。

各部の名称

1. はじめに

本機をご使用になる前に、次の準備をおこないます。

1.1. スタンドを取り付ける

付属のスタンドと本機背面のスタンド取り付け穴を合わせてセットします。

1.2. 充電する

①コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで接続します。
②「USB 接続」メニュー画面が開きます。（右図）
③ ⏮⏭ で「USB 充電」を選択し、⏯ を押します。
④充電を開始します。
（本機の画面には「USB 接続」と表示されます）

USB接続
▶USB 充電▸ ③
USB 更新

本機を初めて使用するときは、必ず充電してから使用してください。最初の充電時間はおよそ5時間、その後はおよそ3時間で充電できます。

●コンピュータを使わずに充電する

充電のためにコンピュータを用意できない場合は、市販の USB タイプの AC アダプタを使用して充電することができます。

⚠注意　市販の USB タイプの AC アダプタを使用する際は、AC アダプタの使用条件に合っているかをよくご確認の上、ご使用ください。誤った使用法により、本機の破壊、事故の原因となる場合があります。

2. 電源の入／切

2.1. 電源を入れる

⏯ を画面が表示される（明るくなる）まで押し続けます。

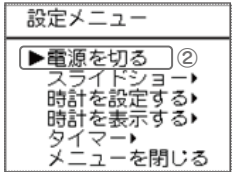
2.2. 電源を切る

電源が入っているときに、⏯ を押し続けると、電源を切ることができます。

また、メニュー画面から電源を切ることもできます。

●メニュー画面から電源を切る

① ⏯ を押してメニュー画面を開きます。
※メニュー画面の表示、操作方法については、次章をご覧ください。
② ⏮⏭ で「電源を切る」を選択し、⏯ を押します。

設定メニュー
▶電源を切る ②
スライドショー▸
時計を設定する▸
時計を表示する▸
タイマー▸
メニューを閉じる

※電源が切れていても、時計は動き続けますが、電池が消耗すると時計がずれる場合があります。その際は充電して、再度時刻を合わせてください。
※充電中は電源を切ることができません。

2.3. リセットする

本機を使用中に操作がきかなくなったり、画面が乱れるなどの症状があらわれたときは、リセットをおこなってください。

①リセットは、ペン先などの先の細いもので本機背面のリセットスイッチを押します。

3. 本機の設定を変える（メニュー画面）

本機の設定は、メニュー画面から操作して変更することができます。

3.1. メニュー画面を開く

写真再生もしくは時計表示をしているときに、⏯ を押すと、メニュー画面になります。

3.2. メニュー画面の説明

項目	主な機能
電源を切る	電源を切ります
スライドショー	スライドショーの設定をおこないます
時計を設定する	時刻を設定します
時計を表示する	時計を表示します
タイマー	自動電源オフの設定をおこないます
メニューを閉じる	メニュー画面を終了し、写真表示に戻ります

3.3. メニュー画面の操作

メニュー画面は本体背面のボタンを使用して操作します。操作方法は次の通りです。

▶II	決定ボタン	決定
▶▶I	戻るボタン	カーソルを上へ移動／数字の減少
I◀◀	進むボタン	カーソルを下へ移動／数字の増加

4. 写真を楽しむ

本機には、写真を楽しむ機能として、次のような機能があります。

- スライドショー機能による自動的な写真の切り替え表示ができます。
- コンピュータと接続して、表示する写真データを編集（転送、消去）することができます。

4.1. 写真を鑑賞する

電源を入れるとすぐに写真を表示します。

4.2. スライドショー

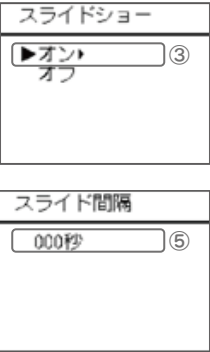
本機には、自動的に写真を切り替えるスライドショー機能を搭載しています。
メニュー画面から、写真を切り替えるタイミング（間隔）や自動切り替えをしない（スライドショーを停止する）設定をすることができます。

●スライド間隔を設定する

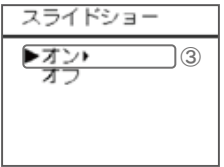
① ⏯ を押して、メニュー画面をひらきます。
② ⏮⏭ で「スライドショー」を選択し、⏯ を押します。
③「スライドショー」画面が開きます。
④ ⏮⏭ で「オン」を選択し、⏯ を押します。
⑤「スライド間隔」設定画面が開きます。
⑥ ⏮⏭ で時間を選択し、⏯ で決定します。

※間隔は、次のように設定できます。
5秒／15秒／30秒／60秒／1時間／1日

スライド間隔
000秒 ⑤

⑦「設定メニュー」画面に戻ります。
⑧ ⏮⏭ で「メニューを閉じる」を選択し、⏯ を押します。

●スライドショーを停止する

自動的に写真を切り替えたくないときは、スライドショー機能を停止します。
①メニュー画面をひらき ⏮⏭ で「スライドショー」を選択し、⏯ を押します。
②「スライドショー」設定画面が開きます。
③ ⏮⏭ で「オフ」を選択し、⏯ で決定します。
④「設定メニュー」画面に戻ります。
⑤ ⏮⏭ で「メニューを閉じる」を選択し、⏯ を押します。

スライドショー
▶オン▸ ③
オフ

4.3. 写真を転送する（書き込む）

コンピュータに接続して、専用ユーティリティソフトウェアにて書き込むことができます。

→「6.3. 写真を書き込む」を参照してください。

4.4. 写真を消去する

コンピュータに接続して、専用ユーティリティソフトウェアにて消去することができます。

→「6.4. 写真を消去する」を参照してください。

5. 時計（タイマー）機能

本機には、時計（タイマー）を搭載しています。これを使用して次のような機能を使うことができます。

- 時計表示
- 自動オン／オフ

5.1. 時計を表示する

①メニュー画面をひらき ⏮⏭ で「時計を表示する」を選択し、⏯ を押します。
②時計が表示されます。（右図）

12:00:00
2009-04-01
水曜日

●時計表示をやめる

①時計表示中に ⏯ を押すと、写真表示へ戻ります。
※時計表示は1分後に自動的に終了し、写真表示になります。

5.2. 時計を設定する

①メニュー画面をひらき ⏮⏭ で「時計を設定する」を選択し、⏯ を押します。
②「時計設定」画面が表示されます。
③「時計設定」画面では、⏮⏭ で合わせたい数字を選んで ⏯ で決定します。

時計設定
12:00:00 ③
2009-04-01
水曜日

時→分→秒→年→月→日　の順に設定していきます。

※曜日は自動的に設定されます。

⑥「設定メニュー」画面に戻ります。
⑦ ⏮⏭ で「メニューを閉じる」を選択し、⏯ を押します。

5.3. タイマー

タイマーを使用すると、あらかじめ設定した時刻に本機の起動、終了ができます。

●タイマーを設定する

①メニュー画面をひらき ⏮⏭ で「タイマー」を選択し、⏯ を押します。
②「タイマー起動」設定画面が開きます。
③ ⏮⏭ で「オン」を選択し、⏯ を押します。
④「タイマー設定」画面では、⏮⏭ で合わせたい数字を選んで ⏯ で決定します。

タイマー起動
▶オン▸ ③
オフ

電源オン（時）→電源オン（分）→電源オフ（時）→電源オフ（分）の順に設定していきます。

⑤「設定メニュー」画面に戻ります。
⑥ ⏮⏭ で「メニューを閉じる」を選択し、⏯ を押します。

●タイマーを解除する

①メニュー画面をひらき ⏮⏭ で「タイマー」を選択し、⏯ を押します。
②「タイマー起動」設定画面が開きます。
③ ⏮⏭ で「オフ」を選択し、⏯ を押します。
④「設定メニュー」画面に戻ります。
⑤ ⏮⏭ で「メニューを閉じる」を選択し、⏯ を押します。

タイマー起動
▶オン▸
オフ ③

6. 専用ユーティリティソフトウェア「フォトビューワー イメージ編集」を使う

「フォトビューワー イメージ編集」は、本機の内蔵メモリを操作して、写真の追加や削除をおこなうユーティリティソフトウェアです。

注意 本ソフトウェアを使用するには、次の動作環境が必須です。
Microsoft Windows XP、Vista（32bit 版）がインストールされ、USB ポートを有するコンピュータ

6.1. 画面の説明

本ソフトウェアは、３つの部分（エリア）から構成されています。それぞれ次のような機能を持っています。

①書込候補写真エリア
フォトフレームに書き込みたい写真データをここに置きます。

②写真編集エリア
書き込みしたい写真データをフォトフレームに合わせて加工します。

③デバイス（内蔵メモリ）エリア
フォトフレーム内部のメモリの内容を表示しています。

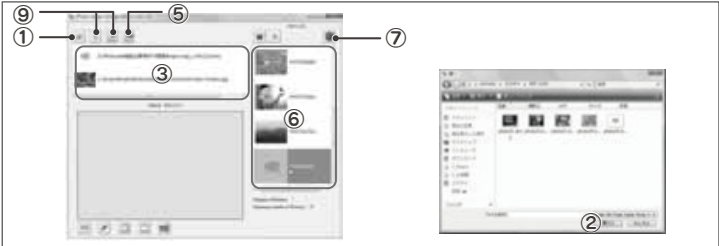
6.2. ソフトウェアを起動する

以下の手順で、ソフトウェアを起動します。

①本機とコンピュータを付属の USB ケーブルで接続します。
②本機の画面に「USB 接続」メニューが表示されます。（右図）
③ ⏮ ⏭ で「USB 更新」を選択し、⏯ を押します。
④コンピュータの画面上に自動再生のウインドウが現れますので、「PhotoViewerAP＿Vx.xx.exe の実行」をクリックします。
⑤ソフトウェアが起動します。
（本機の画面には「USB 接続」と表示されます）

USB接続
▶USB 充電
USB 更新 ③

6.3. 写真を書き込む

本機のメモリに表示したい写真を転送するときは、次のように操作します。

①**ファイルボタン**を押して、ファイルを開くダイアログボックスを開きます。
②転送したい写真を選んで、**開くボタン**を押します。
③ **A 書込候補写真エリア**に選択した写真が表示されます。
④ **A 書込候補写真エリア**に表示された写真の中から、本機に転送したい写真を選んでクリックします。
※Ｃｔｒｌを押しながらクリックすることで、複数の写真を選ぶことができます。
⑤**バッチボタン**を押します。
⑥ **C デバイスエリア**に、選択した写真が表示されます。
これで転送準備は完了です。
⑦**同期ボタン**を押して、本体メモリに転送します。
⑧同期が完了したら、ソフトウェアを終了します。
⑨USB ケーブルを抜き、本機の電源を入れて転送が成功しているか確認します。

同期中 ⑧

●書込候補の写真をキャンセルする

① **A 書込候補写真エリア**で、キャンセルしたい写真をクリックします。
※Ｃｔｒｌを押しながらクリックすることで、複数の写真を選ぶことができます。
②**ファイル消去ボタン**を押します。
③ **A 書込候補写真エリア**から選択した写真が消えます。
これでキャンセルされました。
④ファイル消去ボタンの代わりに、**すべてクリアボタン**を押すと、**A 書込候補写真エリア**にある書込候補の写真がすべてキャンセルされます。

※この操作をおこなっても、コンピュータ内の写真データは消去されませんのでご安心ください。

6.4. 写真を編集して書き込む

編集機能を使うと、写真を回転したり、写真の一部を切り取って、本機に書き込むことができます。

① **A 書込候補写真エリア**で編集したい写真を選択します。
② **B 写真編集エリア**に選択した写真が表示されます。

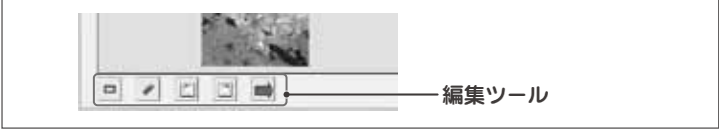
このエリアで、編集ツールやマウスを使って編集をおこないます。

編集ツール

●写真の切り取り（トリミング）

写真の上でマウスをドラッグする（クリックしながら動かす）と範囲が選択されます。（右図）
この範囲はフォトフレームに転送する範囲になります。

●編集ツールの使いかた

上のトリミングとは別に、編集ツールを使っていろいろな編集ができます。

▭	選択ボタン	フォトフレームに最適な範囲を自動選択します。
✎	クリアボタン	選択した範囲をキャンセルします。
◰	左回転ボタン	写真を左 90°回転し、最適な範囲を選択します。
◳	右回転ボタン	写真を右 90°回転し、最適な範囲を選択します。
➡	追加ボタン	デバイスエリアへ追加します。

6.5. 写真を消去する

本機のメモリ内に保存されている写真データは次の方法で消去することができます。

⚠注意 本機から消去した写真は元に戻すことができませんので、この操作は十分に注意しておこなってください。

① **C デバイスエリア**で、消去したい写真をクリックします。
②**消去ボタン**を押します。
③ **C デバイスエリア**から選択した写真が消えます。
④他にも消したい画像があれば、①〜③を繰り返します。

※②の操作をおこなうと、デバイスエリアの表示では、消去した写真が消えますが、実際には本体メモリに残っています。削除を確定するには、必ず次の操作をおこなってください。

⑤**同期ボタン**を押します。
※消去された写真は復元ができませんので、十分注意してください。

・消去を取り消したいとき
→「6.6. 消去を取り消す」を参照

・写真データのバックアップを取りたいとき
→「6.7. 写真をバックアップする」を参照

⑥ソフトウェアを閉じます。
⑦USB ケーブルを抜きます。

6.6. 消去を取り消す

写真を消去する操作をおこなったあと、同期前であれば、消去を取り消すことができます。

①「6.5. 写真を消去する」において**同期ボタンを押す前に**、ソフトウェアを終了します。
②「データは変更されています。変更を保存しないで終了しますか？」と表示されますが、**「はい」**をクリックします。

③ソフトウェアの起動手順に戻ります。
④再起動したソフトウェアの **C デバイスエリア**で、消去されていないことが確認できれば成功です。
⑤ソフトウェアを終了します。
⑥USB ケーブルを抜きます。

6.7. 写真をバックアップする

本機のメモリ内に保存されている写真データは次の方法でコンピュータへ保存（バックアップ）することができます。

① **C デバイスエリア**で、バックアップしたい写真をクリックします。
②**保存ボタン**を押します。
③**同期ボタン**を押します。

④名前をつけて保存ウインドウ（右図）が開きます。
⑤保存するフォルダとファイル名を入力します。
⑥**「保存」ボタン**を押します。
※保存されるファイル形式は BMP 形式です。

主な仕様

型番	RPF-2200
液晶画面	2.2 型 TFT 液晶
有効画像表示サイズ	横 45.2× 縦 33.5mm
解像度	横 176× 縦 132 ドット
最大表示画像数	81 枚
スライドショー再生	瞬間切り替え
スライドショー再生間隔	1 秒／ 15 秒／ 30 秒／ 60 秒 1 時間／ 1 日
操作画面	日本語
デジタル入出力端子	USB miniB 端子 × 1 ※1
対応ファイル形式※2	JPEG、BMP、GIF
電源	内蔵リチウムポリマー充電池 ※USB 端子からの供給も可能
連続使用時間	約 150 分 （内蔵充電池による）
寸法	幅 107× 高さ 84.2× 奥行 12（mm） （スタンドを除く）
質量	65g（スタンド、電池含む）
付属品	USB ケーブル 取扱説明書、スタンド
対応機種	Windows XP ／ Vista（32bit 版） Windows 7（32bit 版／ 64bit 版）

※1 充電および画像データ転送時に使用
※2 付属ユーティリティソフトウェア「フォトビューワー イメージ編集」にて専用フォーマットに変 換・転送可能

保証とアフターサービスについて

■保証について

●保証書
お買い求めになられましたら、保証書に購入店名・購入年月日が記入されているかご確認ください。記入されていないときは、お手数ですが購入されたお店で記入してもらい、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間は、お買い求めの日より３ヶ月間です。保証期間中であっても分解などをした場合は、保証の対象になりませんのでお気をつけください。

●保証期間中の修理
保証書に必要事項を記入し、故障の症状を書いた紙を添えて、お買い求めになったお店までお持ちください。

●保証期間後の修理
保証書に必要事項を記入し、故障の症状を書いた紙を添えて、お買い求めになったお店までお持ちください。ご希望により有償にて修理いたします。

■ユーザーサポート

ご購入後のご質問や修理の依頼は、ユーザーサポート係へお問い合わせください。

電話番号　０３－３２５５－９６００
受付時間　月～金　9:00 ～ 17:00（祝日はお休みです）

製品の活用法、トラブルシューティングなど、最新の情報は、「液晶市場」上でも紹介していますので、こちらもご利用ください。

http://www.ekisho-ichiba.com/

本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っておりません。ご了承ください
This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside of Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

※本製品の仕様・外観は改良のため予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。

<発売元>
ReproeLe リプロ電子株式会社
http://www.reproele.jp
Tel: 03-3255-9600 Fax: 050-3488-4718

保 証 書

品名	**RPF-2200**	保証期間	お買い上げ日より **3 ヶ月**
お客様		**お買い上げ店**	
ご氏名		店名	
ご住所 〒　－			印
お電話番号（　　）　－		お買い上げ日	年　月　日

ReproeLe リプロ電子株式会社
http://www.reproele.jp
Tel: 03-3255-9600 Fax: 050-3488-4718